

### 健康都市宣言

私たちの願いは、お互いに支えあいながら、生涯にわたり健康で生き生きと幸せに暮らすことです。

そのために、「自分の健康は自分で作り自分で守ること」を基本とし、市民がともに助けあい、民間と行政が連携しながら健康づくり・体力づくりを進めていきます。

ここに貝塚市を「健康都市」とすることを宣言します。

- 一 私たちは、自らの健康状態を知り、笑顔を大切に元気あふれる生活をめざします。
- 一 私たちは、自然の恵みと食に感謝し、日々の運動と規則正しい生活に努めます。
- 一 私たちは、豊かな自然を守り育て、住みよい健康的なまちをきずきます。

(平成25年5月1日制定)

### 人材募集



#### 貝塚病院正職員

詳しくは貝塚病院ホームページをご覧ください。

◆臨床検査技師A・臨床検査技師B 計2人  
対象 昭和55年4月2日～平成7年4月1日まで生まれ、臨床検査技師免許があり、超音波検査の実務経験が1年以上あるかた

【臨床検査技師B】平成7年4月2日以降に生まれ、臨床検査技師免許があるかた、または来春取得見込みのかた  
申込期間 7月16日(火)～8月19日(月)

試験 一次日程 8月24日(土)  
試験内容(A・B) 専門試験、適性検査  
二次日程 9月28日(土)  
試験内容 (A)実技・面接(B)面接  
採用日 来年4月1日  
申込・問合せ先 貝塚病院総務課 ☎072-438-5501

#### 自衛官

##### ◆自衛官候補生

所要の教育を経て、3カ月後に2等陸・海・空士に任用されます。  
対象 日本国籍がある18～33歳未満のかた

◆一般曹候補生  
小部隊指揮官の養成。配置により航空機整備、電計通信など技術資格の取得が可能です。  
入隊してから2年9カ月後、選考により3曹に任官されます。

対象 日本国籍がある18～33歳未満のかた  
◆航空学生  
各種航空機のパイロットの養成。6年後に幹部に任官されます。  
対象 【海上自衛隊】日本国籍がある高卒(見込含む)～23歳未満のかた

【航空自衛隊】日本国籍がある高卒(見込含む)～21歳未満のかた  
◎いづれも  
締切 9月6日(金)  
※自衛官候補生は随時受付  
申込・問合せ先 自衛隊大阪地方協力本部岸和田地域事務所 ☎072-426-0902

### 健康



#### エコチル調査 小学2年学童期検査

7月27日(土)～8月24日(土)の期間中、泉州地域の5会場を巡回し、小学2年学童期検査を実施します。  
対象のかたには、5月下旬にお知らせを送付しましたので、ご確認の上、都合のよい日時をご連絡ください。

ご予約・問合せ先 大阪ユニットセンター ☎06-6105-5707

#### 風しん抗体検査費用と予防接種費用を補助

##### ①抗体検査費用補助

対象 昭和37年4月2日～54年4月1日生まれの男性のうち、平成31年2月1日以降に、自己負担で風しんの抗体検査を受けたかたで、抗体検査当日に貝塚市に住民登録があるかた  
補助額 自己負担した抗体検査費用の額と、次表の額のいずれか少ない額

課税 072-433-7000  
申込・問合せ先 健康推進課 ☎072-433-7000

##### ②予防接種費用補助

対象 ①の対象者で、風しんの抗体検査の結果、抗体価が低いと判定されたかたのうち、自己負担で風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチンを接種し、かつ、予防接種当日に貝塚市に住民登録があるかた  
補助額 自己負担した予防接種費用の額と、次表の額のいずれか少ない額

種別接種	金額
風しんワクチンを接種した場合	6,300円
麻しん風しん混合ワクチンを接種した場合	9,900円

抗体検査方法	HI法・LTI法	EIA法・ELFA法 CLEIA法・FIA法
健診の場合	1,393円	2,894円
医療機関の場合	5,324円	6,825円

#### 統合失調症家族教室



場所 岸和田保健所 2階  
対象 岸和田市・貝塚市  
統合失調症者の家族、関係  
職員ほか  
定員 30人(定員になり次第)

補助を受けるためには、抗体検査の結果を証する書類・抗体検査費用領収書・予防接種を受けたことを証する書類・予防接種費用領収書などが必要です。  
詳しくはお問合せください。

日時	内容
8月8日(木) 午後2時～4時	家族間のコミュニケーション方法を学ぶ ～上手に頼む・上手に断る～
8月13日(火) 午後2時～4時	主治医とのコミュニケーション方法を学ぶ

講師 瀧本優子さん(梅花女子大学心理こども学部教授・SST普及協会認定講師)

締切 8月2日(金)  
申込・問合せ先 岸和田保健所精神保健福祉チーム ☎072-422-6070

### 糖尿病性腎臓病(DKD)とは?

糖尿病性腎症(DN)は1998年以降人工透析導入された原因疾患の第1位となっています。DNは尿中微量アルブミン尿、蛋白尿出現を経て、腎機能低下が進行し、末期腎不全となるとされてきました。しかし、最近、尿中アルブミン尿、蛋白尿を伴わないまま腎機能が低下する糖尿病患者が報告され、それは糖尿病性腎臓病(DKD)と診断されます。今のところDKDは糖尿病による腎障害のみの存在を意味するものではなく、動脈硬化や慢性腎炎といった他の疾患を合併した場合も含む幅広い概念とされています。

従って他疾患の鑑別が重要で、今まで以上に腎生検など精密検査が必要なこともあり、腎臓専門医への受診が必

要です。  
治療は血糖管理だけでなく、肥満、高血圧、脂質異常症、高尿酸血症、喫煙など様々なリスクに対する管理が必要です。DKDが進行すれば、タンパク制限が推奨されるため、食事療法の見直しが必要で、治療薬についてもその時の腎機能を考慮した薬剤選択がされます。

現在、DKD進展抑制が期待される薬剤も報告されています。DKDの予後改善のためにはかかりつけ医、糖尿病専門医、そして腎臓専門医のさらなる連携と十分な疾患に対する認識の共有が必要です。

問合せ先 貝塚市医師会 ☎072-423-4130

### ほっスピタル・かいづか

問合せ先 貝塚病院 ☎072-438-5522

#### (38) 泌尿器科って??

「泌尿器科がどんな病気を治療しているのか?」患者さんの素朴な疑問だと思います。主な病気は、頻尿、尿失禁、排尿困難などの排尿障害、腎臓や尿管にできる尿路結石、尿路にできる腫瘍(腎臓、尿管、膀胱、前立腺)、男性生殖器(前立腺、精巣、陰のう、陰茎)などです。

がんの発症は年々上昇傾向にあります。なかでも、前立腺がんは2025年に日本人男性のがん発症数が最も多くなると予測されています。前立腺がんの治療方法は手術、放射線治療、ホルモン治療など様々です。当院には放射線治療設備(体の外から照射する)があり、前立腺の周囲臓器である膀胱や直腸の副作用を軽減させ、前立腺に効率よく放射線を照射する治療が可能です。もちろん、手術やホルモン治療を希望される場合は患者さんの希望に沿った治療を提供しています。

また腎臓や副腎にできた腫瘍の治療については、腹腔鏡手術を積極的に行い、より患者さんに負担の少ない低侵襲な治療も行っています。

当科は常勤医師4人、外来は月曜～土曜(午前中:初診のみ)です。週に2回症例検討会を行い、外来、入院患者さんの病状、病態を医師全員が把握して検査や治療方針を確認しています。そのうえで患者さんとしっかりと話し「最善・最良」の治療を提供できるよう日々診療を行っています。

泌尿器科副部長 齋藤允孝